

ナンバリング EU41C408	授業科目名(科目の英文名) 特別支援教育・障害児支援の現状と課題(Present States and Issues of Special Needs Education and Support for Children with Disabilities)						区分・【新主題】 / (分野) 高度専門科目				授業形式						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員 氏名 佐藤晋治・高橋徹弥・友成洋・衛藤裕司・未定・古長治基 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 7531											
授業の概要	授業は、1)地域における特別支援教育の現状と課題、2)インクルーシブ教育における現状と課題、3)障害児支援のための連携の現状と課題、4)学校現場における特別支援教育の現状と課題、の4つの区分領域に基づき講義を行う。各回とも自治体において、現在、使用されている資料(手引き、ガイドライン等)を使用し、法令又は公開されているデータに基づく解説を行う。さらに、その上で現状と課題を把握し、その対応策について討論する。																
具体的な到達目標																	
目標1	特別支援教育に関する7つのテーマ(初回配付資料にて提示)における、理論や実践の現状を説明できる。 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>																
目標2	各種資料を理解した上で自らの視点で分析できる。 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>																
目標3	分析結果に基づき、解決のための議論・提案ができる。 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	地域における特別支援教育の現状と課題(1) 特別支援教育の専門性と環境整備(未定)																
2	地域における特別支援教育の現状と課題(2) 就学(未定)																
3	地域における特別支援教育の現状と課題(3) 就学支援(高橋)																
4	地域における特別支援教育の現状と課題(4) 特別支援学級・通級指導教室の経営(高橋)																
5	インクルーシブ教育の現状と課題(1) 通常教育を支えるユニバーサル・デザイン(高橋)																
6	インクルーシブ教育の現状と課題(2) 通常教育を支える児童生徒の学習レディネス(衛藤)																
7	インクルーシブ教育の現状と課題(3) 小学校・中学校における合理的配慮(佐藤)																
8	インクルーシブ教育の現状と課題(4) 高等学校・大学における合理的配慮(衛藤)																
9	障害児支援のための「連携」の現状と課題(1) 幼稚園等一小学校間の連携(佐藤)																
10	障害児支援のための「連携」の現状と課題(2) 小学校ー中学校間の連携(佐藤)																
11	障害児支援のための「連携」の現状と課題(3) 教育と医療の連携の現状(古長)																
12	障害児支援のための「連携」の現状と課題(4) 教育と医療の連携における課題(古長)																
13	教育現場における特別支援教育の現状と課題(前編)(友成)																
14	教育現場における特別支援教育の現状と課題(中編)(友成)																
15	教育現場における特別支援教育の現状と課題(後編)(友成)																
ラ イ ニ グ ア ク シ テ ン ド グ ル	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	時間外学修(毎回の小レポート)、調べ学修(文献、インターネット)、プレゼンテーション、ディスカッション	工 そ の 他 の													
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修(文献、インターネット)により、各種資料の理解を進める。(15時間) 事後学修 授業で学習したことを整理し、各種資料に関する理解の定着、深化を図るとともに、調べ学修(文献、インターネット)等により、自らの視点での分析、その分析結果に基づく課題解決のための提案を省察する。(20時間)																
教科書	特に指定しない。																
参考書	自治体において、現在、使用されている資料(手引き、ガイドライン等)。 その具体については、初回配付資料にて明示する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法 毎回、小レポートを課す。 評価の取り組み状況 アクティブラーニングの取り組み状況						割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
注意事項	*授業内でMoodleを使用することもあるので、Moodleを閲覧できる媒体(スマホ、タブレット端末、ノートPCなど)を持参すること。また少なくとも週に1度はMoodleのこの科目的ページを閲覧し、準備学修、事後学習に活用すること。																
備考	特になし。																
リンク	URL																

担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	高橋徹弥(特別支援学校、教育委員会事務局)/友成 洋(特別支援学校、教育委員会事務局)
実務経験をいかした教育内容	学校現場、教育行政現場における実務経験に基づき特別支援教育・障害児支援の今日的な課題の詳述及びそれらへの対応を教授する。